

街なかアーツライブ 盛岡

アーツライブいわて 2022

出演
いわてフィルハーモニーオーケストラ弦楽アンサンブル



ちょっと特別な場所で。ちょっと特別な音楽体験。

9/3 (土)

①10:30 ②14:00

もりおか町家物語館
大正蔵 2階 [時空の展示室]

10/8 (土)

13:00

岩手大学
農業教育資料館

10/29 (土)

①11:00 ②14:00

岩手銀行赤レンガ館
多目的ホール

11/19 (土)

16:00

もりおか啄木・賢治青春館
<2階展示ホール>

文化庁 統括団体によるアートキャラバン事業 (コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業) [JAPAN LIVE YELL project]
[主催] 公益社団法人日本芸能実演家団体協議会、アーツライブいわて実行委員会、特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター
[共催] 盛岡市、公益財団法人盛岡観光コンベンション協会 [後援] 岩手県、岩手県芸術文化協会、岩手県文化振興事業団、岩手日報社、朝日新聞盛岡総局、読売新聞盛岡支局、毎日新聞盛岡支局、産経新聞盛岡支局、河北新報社、盛岡タイムス社、岩手日日新聞社、NHK盛岡放送局、IBC 岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手



街なかアツライブ盛岡

明治・大正時代から残る旧岩手川酒造鉦屋町工場跡。当時の盛岡の人々の暮らしを体感できる「もりおか町家物語館」としてリニューアル。今回は、敷地内にある大正蔵で、山本淑子さんの作品とともに、バッハ、ブラームスを中心とした古典的な名作を管楽器のソコを交えてお届けします。



歴史と美術と音楽

ブルー、バッハ、

ブラームス

プログラム

- J.S. バッハ／フーガの技法 BWV.1080よりコントラプンクトゥス1,4,9
- J.S. バッハ／管弦楽組曲第2番 BWV.1067より（ソコ：村野井友菜）
- J. ブラームス／クラリネット五重奏曲より第1楽章（ソコ：木戸口夏海）
- F. メンデルスゾーン／弦楽のための交響曲第2番 等を予定

出演 いわてフィルハーモニーオーケストラ弦楽アンサンブル
ソリスト／木戸口夏海（クラリネット）、村野井友菜（フルート）

コラボレーションアーティスト

画家
山本淑子
1957年岩手県宮古市生まれ。現代美術家協会会員・運営委員／日本美術家連盟会員／CAF・N協会会員／エコール・ド・エヌ会員／岩手芸術祭洋画部門理事



同時開催中
山本淑子展
「Flow」
2022.9.2(金)～19(月・祝) 9:00-19:00(最終入場18:30)

日時

9/3 (土)

①10:30 ②14:00 ※30分前開場
2回公演(各60席)

会場

もりおか町家物語館
大正蔵 2階 [時空の展示室]

楽しみ方 明治・大正時代から残る旧岩手川酒蔵鉦屋町工場跡。当時の盛岡の人々の暮らしを体感できる「もりおか町家物語館」としてリニューアル。大正蔵1階では、岩手県内の作家作品、盛岡の特産品や工芸品などを販売しております。「松ぼっくり」のジェラートやオリジナルブレンドコーヒーなどをご用意しています。レトロな館内で、ごゆっくりお過ごしください。



〒020-0827
岩手県盛岡市鉦屋町10-8
●**駐車場** 敷地内16台。なるべく公共交通機関をご利用ください。
●**バス** 盛岡駅13番乗り場矢巾営業所行き→「南大通二丁目」降車。徒歩7分・盛岡駅5番乗り場盛南ループ【200】菜園先廻り(右回り)→「南大通二丁目」降車。徒歩7分

(Column)

実は忘れられていた作曲家？

バッハは1750年の死後、オルガン奏者として高く評価されていましたが作曲家としてはあまり知られていませんでした。1829年にライブツィヒを訪れたメンデルスゾーンによって再評価され、マタイ受難曲が再演されました。約80年の間、バッハは忘れられていたということにもなりますね。



宮沢賢治が学んだ岩手大学の農業教育資料館で、賢治とベートーヴェンのつながりについてユニークな視点から光を当てる、宮沢賢治いわて学センター副センター長であり音楽史の授業も担当している木村直弘さんのレクチャーと、弦楽アンサンブル、写真家の奥山淳志さんの映像で見て・聞いて・学ぶライブです。

プログラム

宮沢賢治／牧歌（種山ヶ原の夜の歌）
 宮沢賢治／星めぐりの歌
 L.v. ベートーヴェン／交響曲第6番へ長調 Op.68『田園』より
 A. ドヴォルザーク／交響曲第9番ホ短調 Op.95『新世界より』等を予定

日時

10/8 (土)

13:00 ※30分前開場 1回公演(100席)



②
 宮沢賢治と
 ベートーヴェン

出演

いわてフィルハーモニー
 オーケストラ
 弦楽アンサンブル

ナビゲーター

岩手大学人文社会科学部
 人間文化課程教授
 木村直弘



コラボレーションアーティスト

映像
 奥山淳志



1972年大阪生まれ、奈良育ち、京都外国語大学卒業。1998年岩手県雫石町に移住し、写真家として活動を開始。以後、東北の風土や文化を撮影するほか、人間の生きることをテーマにした作品制作を行う。2018年写真集『弁造Benzo』および個展「庭とエスキース」で2018年日本写真家協会賞新人賞受賞。著書に「庭とエスキース」「動物たちの家」（みすず書房）

1961年東京生まれ。関西学院大学大学院文学研究科博士課程後期課程（美学専攻）単位修得満期退学。日本学術振興会特別研究員他を経て、1995年、岩手大学教育学部に助教授（音楽学）として赴任。以後、同准教授、教授を経て、2016年より現職。



会場

岩手大学
 農業教育資料館



〔歴史〕1912年（大正元年）に建設された盛岡高等農林学校本館。明治期に設置された国立の専門学校の中心施設のうち、現存する数少ない遺構のひとつ。1994年（平成6年）7月12日には国の重要文化財に指定。

〔楽しみ方〕1915年～20年にかけて、宮沢賢治が在籍し、宮沢賢治関連資料も数多く所蔵。第四展示室では、「石っこ賢さんと盛岡高等農林学校」と題し、賢治が採集した石や自作した標本、得業論文などが展示されており、宮沢賢治が生きた当時に思いを馳せることができます。



〒020-8550
 盛岡市上田3丁目18-8

- バス 盛岡駅11番乗り場「松園方面行き」→「岩手大学前」下車
- 徒歩 盛岡駅より旭橋、材木町、梨木町を経て旧正門からお入り下さい。徒歩30分

(Column)

賢治が愛したクラシック音楽

ベートーヴェン『交響曲第5番』は詩集『春と修羅』が生まれるきっかけになったと言われています。弟・清六さんの「兄のトランク（ちくま文庫）」の中には「繰り返し繰り返し我らを訪れる運命の表現の素晴らしい。おれも是非共こういふものを書かねばならない。（兄とレコード）」という記述もあります。また、賢治のオリジナル曲『牧歌』の元となったと思われるベートーヴェン交響曲第6番『田園』、銀河鉄道の夜に直接登場するドヴォルザークの交響曲第9番『新世界より』、そして当時は最新だったR・シュトラウスやストラヴィンスキーのレコードなど、ヨーロッパの大作作曲家の作品をたくさん聴いていました。賢治さんは音楽から多くのインスピレーションを受けていたのです。（寺嶋）



現代を踊る

3

モダンと音楽

出演

いわてフィルハーモニーオーケストラ 弦楽アンサンブル

コラボレーションアーティスト

ヴァイオリニスト
町田匡



盛岡市出身。都立芸術高校を経て、東京藝術大学を卒業。これまでに松見和子、沼田園子、ジェラルド・ブーレ、漆原朝子の各氏に師事。EnsembleFOVEメンバー及び日本フィルハーモニー交響楽団第1ヴァイオリン奏者。オーケストラをメインワークとする傍らTVドラマや映画のレコーディング・編曲、米津玄師、宇多田ヒカル等のアーティストの楽曲に参加するなど多方面に活動を展開している。(株)日本ヴァイオリンより名器特別貸与助成を受けている。

コラボレーションアーティスト

コンテンポラリーダンス
坂上健



photo: 三浦美穂

盛岡市在住のダンサー、ダンス講師。8歳からダンスを始め、ジャズダンス、モダンダンス、バレエ、コンテンポラリーダンスを学ぶ。想像力や直感から生まれる「今」を捉える即興的なダンスで身体表現に向き合っている。個人独自の創造性を育むことができるダンスの場の提供も目指している。

プログラム

- M.ラヴェル/弦楽四重奏曲へ長調より「第1楽章」
- S.バーバー/弦楽のためのアダージョ
- N.アイアランド/コンチェルティーノ・パストラレより第3楽章
- E.モリコーネ/ガブリエルのオーボエ等を予定

日時

10/29

土

11:00 14:00 ※30分前開場
2回公演(各50席)

1911年に辰野金吾により設計された盛岡銀行の本店行舎。明治から大正、昭和と盛岡を見守り続けてきた建物で、1900年以降に作曲されたクラシック音楽をダンスとのコラボレーションで新しい視点から体験します。

(Column)

現代音楽は難しい？

伝統的なヨーロッパのクラシック音楽には多くの「しきたり」がありましたが、戦争という転機で激変します。ワーグナーはナチス政権に利用された代表格ですが、ソビエト政権下(現ロシア)でもプロバガンダに利用され、多くの作曲家が苦汁をなめました。そんな音楽の政治利用、国威発揚に利用された反省から、「感情をはがしとる」近代・現代の音楽の流れが作られたのが第二次世界大戦後です。あえて感動的でない、無機質だったり不協和音を多用したり、形式を無視したり…。多くの試みが時代を映します。そう考えると現代音楽は、難解であることは確かですが、多様性を認める視点から現代音楽を見つめると、より存在意義が見えてきます。まずは身をゆだねてみてはいかがでしょうか。(寺崎)

会場

岩手銀行赤レンガ館 多目的ホール



歴史 1911(明治44)年に盛岡銀行の本店行舎として落成。1983(昭和58)年に岩手銀行新社屋完成に伴い中ノ橋支店となった。設計は東京駅でも知られる、辰野・葛西建築設計事務所によるもので、辰野金吾が設計した建築としては東北地方に唯一残る作品。



〒020-0871

岩手県盛岡市中ノ橋通一丁目2-20

●バス 盛岡駅より「盛岡バスセンター」下車、徒歩3分

鳥は歌うのか？

2021年、オーストラリアで、絶滅の危機にあるオーストラリアの鳥のさえずりや鳴き声のみを収録した「Songs of Disappearance」が、週間アルバムランキングでトップ5に入りました。豪の非営利団体が制作したもので、同国で最も絶滅の危機に瀕している53種の鳥の鳴き声が収録されています。ある種のツグミのわずか2秒間のさえずりは、45~100個の音符と25~50回の音変更で構成され、五音音階に似た人間の使った曲にも聞こえるとのこと。(浦久俊彦著「138億年の音楽史」より)。人間だけが音楽をしているわけではないのかもしれませんが。自然の音や動物の音楽にも耳をすましてみませんか？



会場

もりおか 啄木・賢治青春館 〈2階展示ホール〉



歴史 1910(明治43)年に第九十銀行本店本館として落成。設計は盛岡出身の設計技師、横濱勉。横濱は啄木や賢治と同じ盛岡中学出身、東京帝国大学建築学科を卒業。若い感性を最大限に活かし、第九十銀行の外観と営業室をロマネスクリバイバル式、その他の諸室をセセッション式として、当時の欧州の自由な建築運動を、反映させた。

楽しみ方 銀行の「営業室」だった一部分を、啄木の詩集から名付けられた喫茶コーナーとして皆様をお迎えしています。オーダー後に豆を挽いて淹れる珈琲「青春館ブレンドあこがれ」、優しい香りがある「みなまた紅茶」(共に450円)など、重要文化財の中で、静かなひとときをお楽しみ頂けます。

〒020-0871

盛岡市中ノ橋通一丁目1-25

●バス 岩手県交通「でんでんむし号」→「盛岡バスセンター」下車、徒歩3分/岩手県交通「バスセンター行」「盛岡バスセンター」下車、徒歩3分/岩手県交通「水道橋行」「青春館前」下車、徒歩0分



プログラム

- A. ヴィヴァルディ／四季より「冬」第2楽章
- G. フィンジ／プレリュード Op.25
- F. ディーリアス／2つの水彩画
- J. ラター／弦楽のための組曲
- パブロ＝カザルス (編曲)／鳥の歌 等を予定

日時

11/19 (土)

16:00 ※30分前開場 1回公演(50席)

④

自然と音楽

もりおか啄木・賢治青春館で開催予定の展示会場をお借りし、「自然」をテーマにしたクラシック音楽を楽しんでいただきます。どんな展示になるかもあわせてお楽しみに。

出演 いわてフィルハーモニーオーケストラ
弦楽アンサンブル

コラボレーションアーティスト

チェリスト

長谷川弘樹
(郡山交響楽団)



9歳よりチェロを始める。桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業、桐朋学園大学研究科修了。卒業後にスイスのジュネーブに留学し、Iseut Chuatの下で研修を積む。2011年~2014年、兵庫芸術文化センター管弦楽団チェリストとして在籍。2021年9月郡山交響楽団を立ち上げ、同楽団の代表理事を務める。





いわてフィルハーモニーオーケストラ

岩手を中心としたプロの演奏家たちによるオーケストラ。今回は弦楽メンバーを中心にした編成で活動。東日本大震災後、被災地からの支援要請を受け、「いわてフィルハーモニー」を組織しオーケストラ鑑賞教室を開催。県北沿岸被災地域の子供たちや被災者2,500名に演奏を届けた。また文化庁「文化芸術体験事業」、文部科学省「復興教育支援事業」、復興支援チャリティ公演など岩手県初のプロ集団として活動を展開している。ウィーン・フィル&サントリー音楽復興祈念賞などの支援により、定期演奏会を開催。近年は大阪交響楽団や日本フィルハーモニー交響楽団とのコラボレーション企画も実施している。



指揮・プログラム

寺崎巖

指揮を小林研一郎氏及び故水間博明氏に師事。日本弦楽指導者協会理事。宮古市民文化会館芸術監督。いわてフィルハーモニーオーケストラ代表・指揮者。1995年ドイツ演奏旅行。2003年東京芸術劇場にて指揮デビュー。2006年ドイツ・イタリア演奏旅行。2010年岩手県芸術選奨受賞。2012年岩手県教育表彰。2015年より大阪交響楽団を指揮（4回）。2020年いわてフィルハーモニーオーケストラがいわて暮らしの文化知事特別表彰を受ける。



チケット

- 全席自由 ● 各回単券 1,500円（前売・当日）
● 通し券 5,000円（4公演すべてを1回ずつ鑑賞できます。）
※通し券は「風のスタジオ」「もりおか町家物語館」のみで発売。

プレイガイドで買う

フェザン、風のスタジオ、もりおか町家物語館、Cyg art gallery、プラザおでって、カワトク

電話で予約する

019-656-8145
いわてアートサポートセンター
チケット予約窓口

ウェブで予約する

Google フォームから
予約が可能！



①37.5度以上の発熱、咳や喉のいたみ、強い倦怠感などの症状がある方のご来場はお控えください。ご来場の際にはマスクを着用し、公演中もはずさないようにお願いいたします。②客席は、舞台からの距離を確保しております。③空調設備を適切に稼働させ、必要に応じて窓を開放するなど、十分な換気を行います。④チケット販売の際にお伺いした個人情報はお日の受付のほか、新型コロナウイルス感染者が発生した場合にのみ保健所等の公的機関へ提供することがあります。ご了承ください。

本公演、「アーツライブいわて2022」の
最新情報はこちら

<https://iwate-arts.jp/>



Facebook

[特定非営利活動法人
いわてアートサポートセンター]



Twitter

@artslive_iwate



お問い合わせ

いわてアートサポートセンター

〒020-0874 岩手県盛岡市南大通1丁目15-7 盛岡南大通ビル 3階 / TEL:019-656-8145
※公演当日のお問い合わせは080-6926-9547へお願いします。

アマチュア音楽家が
よく練習してます!
上田公民館

ランチもライブも
最高!
ナツメグ

街なかアーツライブ盛岡

アーツライブいわて 2022

街なかアーツライブ盛岡は、盛岡市内の歴史的建造物（ユニークベニュー）を活用して行う、音楽と美術やダンスとのコラボレーションコンサートシリーズです。コラボレーションは4会場で4公演6ステージ。各施設の歴史や文化をテーマにしたクラシック音楽と、コンテンポラリーダンス、映像など様々なジャンルを掛け合わせ、より面白く、より深く、より親しみやすいコンサートを目指しています。



もりおか 一日一音 マップ

盛岡のまちには様々な音の風景があります。盛岡の暮らしの中に根ざした音、音を大切にしている場所、和音のように重なる盛岡独自の音楽文化をマップにまとめました。街なかアーツライブにいらっしゃる際には、お散歩しながら盛岡の音に耳をかたむけてみませんか？

- ホール・スペース・ライブハウス
- レコード店
- 楽器店
- 音にまつわるお店や風景

もりおか町家物語館
浜藤ホール・大正蔵・時空(とき)の展示室